

研究課題 当院にて透析導入となった糖尿病腎症における臨床的特徴

研究期間

データ収集期間 2018年 10月 1日 ～ 2018年 10月 31日

データ分析期間 2018年 11月 1日 ～ 2018年 12月 31日

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 内科（内分泌・代謝内科）

目的

糖尿病腎症は、糖尿病が発症してから約5～10年の経過で、微量アルブミン尿の出現を持って臨床的に発症します。我が国において1998年より慢性糸球体腎炎を抜いて新規透析療法導入症例の原疾患第一位となっています。今後、増え続ける透析症例を抑制するために、透析予防が重要になってきています。どのような症例が透析導入に至っているのか、透析導入となった症例を解析することで、今後の透析予防につながる可能性があると考えられます。そこで、今回、当院で透析導入となった糖尿病患者において、どのような症例が透析に結びついているのかを調査することを目的としています。

方法

2013年1月から2017年12月までの5年間の間で当院泌尿器科にて透析導入となった糖尿病腎症症例を対象とします。透析導入となった地点を基準とし、そこから過去にさかのぼり（約5年間）、透析導入となった症例の特徴を調査します。具体的には、透析導入時の身体所見、透析導入前の代謝パラメーター、腎機能パラメーター、尿所見などを調査します。

意義

透析導入に至る糖尿病腎症の特徴が明らかになる可能性があります。

個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから身体所見に関するデータ収集および投薬状況に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果をインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後5年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院倫理審査委員会の承認を得ます。

問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 内科（内分泌・代謝内科） 火伏 俊之

住所：564-0082 吹田市片山町2-13-20 電話番号：06-6387-3311